



チャレンジチーム (3年生以下)

優勝

2014JA仙台カップ 2連覇!

僕たちは、元気に、楽しく、



値千金の同点ゴールを決めた滝内ゆう君

アバンツァーレのかわらばん



2015年 1月号

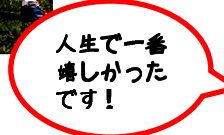
謹賀新年

アバンツァーレジュニアサッカークラブ会報

11月22・23日に泉区の泉サッカー場にて、「JA仙台カップ2014少年低学年サッカー大会」が開催されました。大会初日には、食農教育の一環として、全チームの監督・コーチ・選手に、JA仙台管内でとれた「平成26年産新米 ひとめぼれ」がプレゼント！そして、その米を使ったおにぎりが振舞われました。大会は16チームを4チームずつに分けてのリーグ戦。2日目に上位2チームで決勝トーナメントが行われました。決勝進出を決めたのはアバンと北六スポーツ少年団です。

決勝戦は白熱！一進一退の攻防が激しく、相手チームが先制。そのまま試合終了のホイッスルが近づき、残り時間あとわずか…。しかしあきらめないアバン選手。滝内ゆう君(小2)が同点ゴールを決め、勝敗はPK戦にもつれこみました。

先行のアバンのキッカーは天坂りくと君(小3)です。ゴ〜〜〜！そして、相手チームの1人目をゴールキーパーの庄司がなた君(小3)がナイスセーブ！次のアバンのキッカーは、佐々木たいち君(小3) 3人目は山道りと君(小3)です。共にしっかりと決め、歓喜の瞬間が…。本当に劇的な勝利でした。



人生で一番嬉しかったです！

大会MVPは！天坂りくと君

実はMVPになる自信はありました(^o^)/でも、仲間がつくってくれたチャンスでフリーキックを直接決めることができたからです。どんなゴールよりもうれしかったです。チームは楽しくプレーできていました。決勝も北六はつよかったですけど、チームは集中していい雰囲気でも戦えました！



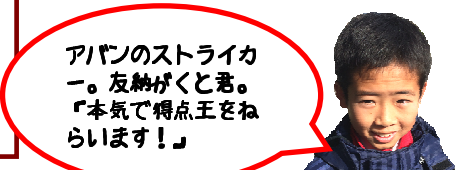
- 予選リーグ
- vs 荒町SSS 10-0
- vs 古川電池FC 11-0
- vs 岩切SSS 6-0

- 決勝トーナメント
- vs 多賀城FC 1-0
- vs マリソル松島 1-0
- vs 北六SSS 1-1(PK3-2)

いよいよ決戦の舞台へ…。まってる全国の強豪チーム！ 第24回全日本少年フットサル大会

- アバンは予選Dグループに決定！
- 1月4日(日)
- vs クラージュ広島(広島県代表)
- vs 中原SCF(熊本県代表)
- 1月5日(月)
- vs 鹿島アントラーズ(茨城県代表)
- vs ベスト16・1回戦
- 1月6日(火)
- 準々決勝 準決勝 決勝戦

組合せが、いよいよ決定！ 大会キャッチコピーは、「未来への挑戦はここから始まる。」



アバンのストライカー。反納がくと君。「本気で得点王をねらいます！」



全日本少年フットサル大会とは、12歳未満のジュニア年代におけるフットサルの日本一決定戦のことです。パーモンドカレーでおなじみのハウス食品さんが特別協賛しているので「パーモンドカップ」とも呼ばれています。第1回大会の優秀選手に選出された元日本代表の小野伸二選手を筆頭に、辰口元気選手などプロ選手として活躍する選手の中にも、この大会の経験者が年々増えています。

監督からのクリスマスプレゼントは、アバン特製のニット帽！

第24回全日本少年フットサル大会 全国大会出場



後は、自分達のプレーで闘うのみ！



トレーニングの総仕上げ！



やるだけのことはやった。

キャプテン 高田まさき君

全国大会が決まってからチームみんなで一生懸命練習してきました。強化練習、交流試合も含めて、できることをすべてやってきました。一人ひとりの戦う気持ちも強く、チームは準備万端です。全国大会では、アバンツァーレのサッカーをしっかりと対戦するチームにぶつきたい。自分たちのサッカーを粘り強くやりきりたいです。今までのパーモンドカップ地区・県予選からのチームの良い雰囲気を維持し、全国でも優勝を狙います！皆さん、応援して下さい！



みなさん、こんにちは。先日、山形の加茂水族館に行ってきました。加茂水族館は、今年のも

アバンツァーレ年末年始の練習お休みのお知らせ

今年も大変お世話になりました。お陰様で無事2014年の活動を締めくくることができました。さて、年末年始、アバンツァーレのお休みのお知らせです！2015年もアバンをどうぞよろしくお楽しみします(。_。)

★12/27(土)～1/4(日)全スクールお休みです。



誰でも参加できる！楽しめる！

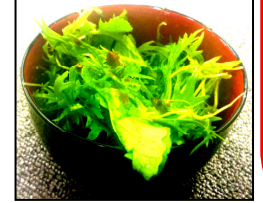
第21回 親子サッカー

親子サッカーMVP！
年少でも、大人相手に大活躍！
矢吹はやと君



- 好きな食べ物は「パイナップル」。
- サッカーで好きなことはドリブル。
- MVPはうれしい。
- お父さんがうれしそうでした。
- お父さんが本気でサッカーしてくれた。
- お母さん、いつもご飯つくってくれてありがとう。

アバン庭園で採れた水菜。



「シャキシャキしてみずみずしくて美味しかったです！」と、青木コーチはモリモリと食べました。他のコーチたちも美味しく頂きました。

青木コーチ 試食！



インフルエンザに要注意！

楽しくて、そして新しい年を迎えるにあたって、大切な時期、年末年始。そんな時にインフルエンザなんて悲しいぞ(T.T) 人事だと思わず、本気でインフルエンザの予防に取り組み。自己管理はサッカー選手の基本の基本です。まず、一番効果的な予防方法が「ていねいなうがい」「石けんを使った手洗い」です！マスクはウィルスをブロックすることはできないのですが、鼻や口をおおって接触をさけるという意味や鼻や口の温度を保つという意味では効果的です。十分な睡眠、バランスの良い食事とビタミン補給も重要。そして、極端な厚着や薄着もダメ！あまり過保護だと抵抗力がつきません。着過ぎるのももちろん…。適度な運動も大切なので、サッカーは最適なスポーツ。やはり「子どもは風邪の子」です。予防しつつも、家に閉じこもってばかりじゃ逆効果ぞぞ！！

サッカー専門誌「サッカークリニック」に、中里コーチへの取材記事が掲載されました。



「サッカークリニック」は、「選手と指導者の為の本格的な持帰・読者のサッカー専門誌」です。サッカーの指導者なら誰もが知っている情報誌です。もちろんアバンツァーレの指導者も愛読しています。かなり上級者向けの専門誌で、ほとんどの読者は大人の指導者だと思えます。ただ、プロを目指す意欲の高い選手なら、読んでみたい一冊。コーチも大学生の頃から読んでいます。



今回の雑誌の特集が「サポート」についてなかなか難しいテーマです…。

★中里コーチへの取材記事の一部抜粋
ジュニア年代で「サポート」を理解するのは簡単ではないとは思いますが？
中里 すぐに理解できるようなものではありません。繰り返して練習で実行し、指導者がコーチングすることで理解を深めていきます。ただし、指導者が「あーしろ」「こうしろ」と言うべきではないと考えています。むしろ、指導者は多くを言わないようにし、子供自身が考えるように促したほうが効果的な指導ができると思います。しかし、練習で同じような現象が何度も起こるような場合は、フリーズ(※注)してアドバイスを与えなければならぬケースもあると思います。また、サポートの理解においては、オフ・ザ・ピッチの過ごし方が影響するようにも感じています。日常生活で周囲を注意深く見る、考えることを習慣化することが好影響を与えると思うからです。
※注「フリーズ」 = プレーを一時的に止めて、選手に指導する方法。



先月号にも掲載しましたが、11月3日は中里コーチの誕生日でした！コーチ達で居酒屋にケーキを持ちこみ、お祝いしました！

12月アバン会員参加型企画！
「クリスマス・ゼン君を探せ！」

12月号のかわらばんから「クリスマスゼン君」をさがす企画(ウォーリーを探せ風)でしたが、応募してくれたみんな、ありがとう！

正解は「14体」でした。

正解者は、並木ゆう君(小3) 山形ゆうと君(小6)のみでした。むずがしかったかな？見事、正解した2人には、パッチをプレゼントです！！おめでとうございます。残念ながら不正解だったみんな残念だけど、あきらめないでもう一度、12月かわらばんを見直してみよう。ヒントは、かわらばんの「裏側」に「8体」「裏側」に「6体」とわかれています。ぜひ見つけ出してスッキリしよう！

佐藤さんのアバン事務局通信



皆さん、こんにちは。事務局の佐藤です。以前は春にお弁当を作ってもらっていた私ですが、半年くらい前からお弁当ではなく、毎日の昼ご飯に頼る日々が続いていました。しかし、最近、「Horo-Ranchi」という日替わり弁当を届けてくれるお店を知り、週1回くらいの頻度で注文しています。栄養士さんが栄養バランスを考えてつくってくれており、味も栄養バランスもパッチリ。価格も350円とコンビニ弁当よりお手軽です。そして何より2個から配達してくれて、当日の9時半までに連絡すればOKというのがとてもありがたい！日本全国に店舗があるので、毎日の昼ご飯にお困りの方、興味があったら注文してみてください。